

2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月13日

上場会社名 株式会社 A B E J A 上場取引所 東
 コード番号 5574 URL https://www.abejainc.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) 岡田 陽介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 英 一樹 TEL 03-6387-9222
 四半期報告書提出予定日 2023年7月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の業績 (2022年9月1日~2023年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	2,100	-	378	-	375	-	374	-
2022年8月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	48.51	-
2022年8月期第3四半期	-	-

- (注) 1. 2022年8月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年8月期第3四半期の数値及び2023年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 2023年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は当第3四半期会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2023年8月期第3四半期	2,579		2,167		83.9
2022年8月期	2,159		1,793		82.8

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 2,163百万円 2022年8月期 1,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年8月期	-	0.00	-		
2023年8月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年8月期の業績予想 (2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,767	39.9	390	-	366	-	320	-	40.60

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無
 2. 当社は2023年6月12日を払込期日とする公募増資により普通株式700,000株を発行、また2023年7月11日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当により普通株式187,500株を発行しております。2023年8月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該新株式の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	7,711,400株	2022年8月期	7,711,400株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	－株	2022年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	7,711,400株	2022年8月期3Q	－株

(注) 当社は、2022年8月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年8月期第3四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「ゆたかな世界を、実装する」を企業理念に掲げております。この企業理念のもと、テクノロジーの産業界への社会実装を支援することにより、産業横断的なイノベーションを創出し、社会に貢献し続けることを目指し、企業のデジタルトランスフォーメーション推進を総合的に支援しております。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から社会活動は正常化に進んでおり、国内景気には穏やかな回復の動きがみられます。一方でウクライナ情勢による影響、エネルギー価格や物価の上昇、金融資本市場の変動等の影響により先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の事業が属するデジタルトランスフォーメーション市場におきましては、ビジネスプロセスのデジタル化や既存のビジネスモデルを変える新たな試みなど、デジタルトランスフォーメーションの取組みは広がりをみせ、企業のIT投資への意欲は引き続き強いものとなっております。今後はアフターコロナにおける新しい社会の実現や、少子高齢化に伴う労働生産人口の減少、働き方改革を背景に、多くの企業においてデジタルトランスフォーメーションを推進する動きが一層活発化するものと捉えております。

このような環境の中、当社はABEJA Platformを基盤として、企業のデジタルトランスフォーメーション推進を支援することにより、安定して事業を拡大することができました。

当第3四半期会計期間につきましては、ABEJA Platformにおける大規模言語モデル (Large Language Model、以下「LLM」) のサービス拡張を行いました。当社のLLMは主にエンタープライズをターゲットとしており、実装・運用に向けて展開を進めております。また、経営成績につきましては、売上高は693,141千円と堅調に推移しました。営業利益は33,311千円と、業績予想にて開示しましたとおり、更なる事業成長、組織基盤の強化のため、戦略的にセールス強化や採用を含む人件費等の販売費及び一般管理費に投資を行いました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高2,100,805千円、営業利益378,838千円、経常利益375,832千円、四半期純利益374,113千円となりました。

当社はデジタルプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

なお、売上高については、「トランスフォーメーション領域」と「オペレーション領域」に分類しており、2022年8月期及び2023年8月期第3四半期累計期間の実績は次のとおりとなります。

(単位：千円)

領域の名称	2023年8月期 第3四半期累計期間 (実績)		2022年8月期 (実績)	
		構成割合		構成割合
トランスフォーメーション領域	1,760,578	83.8%	1,662,994	84.1%
オペレーション領域	340,227	16.2%	315,236	15.9%
合計	2,100,805	100.0%	1,978,230	100.0%

トランスフォーメーション領域は、企業のデジタルトランスフォーメーションニーズに対応したプロフェッショナルサービスを、ABEJA Platformに導入し、提供しております。このため、主な収入は顧客企業のデジタルトランスフォーメーション推進のための各種支援に伴う収入となります。なお、デジタルトランスフォーメーションは段階的に進めていくため、多くはフロー型 (都度契約) の契約となりますが、一方で長期間にわたる計画的なプロセスとなるため、継続顧客の割合は高くなっております。

・継続顧客からの売上比率 (注) 91.8% (2022年8月期)

(注) 継続顧客からの売上比率は、既存顧客 (前事業年度に売上が発生した顧客) の当事業年度の売上高/当事業年度の売上高

オペレーション領域は、ABEJA Platform上に構築した様々なシステムを汎用的な仕組み・サービスとして提供しております。このため、主な収入は顧客企業に提供する汎用的な仕組み・サービスに応じたストック型の継続収入となります。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ419,761千円増加し、2,579,559千円となりました。これは主に営業黒字化により現金及び預金が462,317千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ45,648千円増加し、411,736千円となりました。これは主に当第3四半期会計期間より賞与制度を導入し、賞与引当金が52,410千円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ374,113千円増加し、2,167,823千円となりました。これは四半期純利益の計上により利益剰余金が374,113千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2023年6月13日に開示いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、業績予想は発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,844,536	2,306,853
売掛金及び契約資産	151,010	176,683
仕掛品	70,368	16,993
貯蔵品	599	3,591
その他	87,260	68,846
貸倒引当金	△1,004	△1,049
流動資産合計	2,152,770	2,571,918
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	—	640
減価償却累計額	—	△26
工具、器具及び備品 (純額)	—	613
有形固定資産合計	—	613
投資その他の資産	7,027	7,027
固定資産合計	7,027	7,641
資産合計	2,159,798	2,579,559
負債の部		
流動負債		
買掛金	322	1,463
未払金	178,438	121,575
未払法人税等	—	1,717
賞与引当金	—	52,410
その他	107,327	154,570
流動負債合計	286,088	331,736
固定負債		
長期借入金	80,000	80,000
固定負債合計	80,000	80,000
負債合計	366,088	411,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,883,577	1,883,577
利益剰余金	△194,366	179,747
株主資本合計	1,789,211	2,163,324
新株予約権	4,498	4,498
純資産合計	1,793,709	2,167,823
負債純資産合計	2,159,798	2,579,559

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	2,100,805
売上原価	813,760
売上総利益	1,287,045
販売費及び一般管理費	908,206
営業利益	378,838
営業外収益	
受取利息	9
受託研究収入	19,800
その他	2,279
営業外収益合計	22,088
営業外費用	
支払利息	239
受託研究費用	16,500
その他	8,355
営業外費用合計	25,094
経常利益	375,832
税引前四半期純利益	375,832
法人税、住民税及び事業税	1,718
法人税等合計	1,718
四半期純利益	374,113

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

1. 公募による新株式の発行

当社は、2023年6月13日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2023年5月9日及び2023年5月25日開催の取締役会において、新株式の発行を次のとおり決議し、2023年6月12日に払込が完了しました。

- (1) 募集方法 : 一般募集 (ブックビルディング方式による募集)
 - (2) 発行する株式の種類及び数 : 普通株式 700,000株
 - (3) 発行価格 : 1株につき 1,550円 (注) 1
 - (4) 引受価額 : 1株につき 1,426円 (注) 2
 - (5) 資本組入額 : 1株につき 713円
 - (6) 発行価格の総額 : 1,085,000千円
 - (7) 引受価額の総額 : 998,200千円
 - (8) 資本組入額の総額 : 499,100千円
 - (9) 払込期日 : 2023年6月12日
 - (10) 資金の用途 : 顧客基盤の拡大、深耕のための人件費、ABEJA Platformの拡充のための開発費、運用費及び研究開発費、人材採用費に充当する予定です。
- (注) 1. 一般募集はこの価格にて実施いたしました。
2. この価額は当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受け取った金額です。なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

2. 第三者割当による新株式の発行

当社は、2023年6月13日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2023年5月9日及び2023年5月25日開催の取締役会において、野村証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を次のとおり決議し、2023年7月11日に払込が完了しました。

- (1) 募集方法 : 第三者割当 (オーバーアロットメントによる売出し)
- (2) 発行する株式の種類及び数 : 普通株式 187,500株
- (3) 割当価格 : 1株につき 1,426円
- (4) 資本組入額 : 1株につき 713円
- (5) 割当価格の総額 : 267,375千円
- (6) 資本組入額の総額 : 133,687千円
- (7) 払込期日 : 2023年7月11日
- (8) 割当先 : 野村証券株式会社
- (9) 資金の用途 : 1. 公募による新株式の発行 (10) 資金の用途と同一です。